



# Cisco DNA Spaces のユーザーとアカウントの管理

この章では、Cisco DNA Spaces ユーザーを招待および管理する方法について説明します。

- [Cisco DNA Spaces ユーザーの管理 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco DNA Spaces のアカウントの管理 \(5 ページ\)](#)

## Cisco DNA Spaces ユーザーの管理

Cisco DNA Spaces では、ユーザーが実行するロールに基づいて、ユーザーにさまざまな権限が付与されます。

## Cisco DNA Spaces ユーザーの招待

Cisco DNA Spaces アカウントが作成されると、提供された電子メール ID を持つアカウントに対して Dashboard Admin Role ユーザーが作成されます。このダッシュボード管理者は、他のユーザーを Cisco DNA Spaces に招待できます。

Cisco DNA Spaces は、デフォルトのユーザーロールである Dashboard Admin Role のみを提供します。デフォルトでは、Dashboard Admin Role には、DNASpaces (ダッシュボードの左ペインのメニュー項目、および Behavior Metrics、OpenRoaming、Location Analytics、Location Analytics、Location Personas の各アプリを含む)、CaptivePortals および OperationsInsights の各ロールタイプに対してのみ読み取りおよび書き込みアクセス権が付与されます。



- (注)
- Dashboard Admin Role が BLEManager などの他のロールタイプ (アプリ) へのアクセス権を必要とする場合は、Cisco DNA Spaces サポートチームに連絡する必要があります。
  - デフォルトでは、SEE (Base) ライセンスの Dashboard Admin Role では、DNASpaces にのみアクセスできます。

Cisco DNA Spaces では、さまざまなアプリへのさまざまなアクセス権を持つユーザーロールを定義できます。たとえば、Captive Portals アプリでは読み取りと書き込みのパーミッションを持ち、Operational Insights アプリでは読み取り専用のパーミッションを持つユーザーロールを作成できます。

アカウントで特定のサービスが有効になっている場合は、ユーザーロールに次のロールタイプ（アプリ）を含めることができます。

- [DNASpaces] : このロールタイプは、[Location Hierarchy]、[Admin Management]、[Monitoring and Support]、[Setup] など、Cisco DNA Spaces ダッシュボードの左ペインにあるすべてのメニュー項目へのアクセスを提供します。さらに、このロールタイプは、Behavior Metrics、OpenRoaming、Behavior Metrics、Engagements、Location Personas などのアプリへのアクセスを提供します。
- [Asset Locator] : このロールタイプは、Asset Locator アプリへのアクセス権を提供します。
- [Detect and Locate] : このロールタイプは、Captive Detect and Locate アプリへのアクセス権を提供します。
- [CaptivePortals] : このロールタイプは、Captive Portals アプリへのアクセス権を提供します。
- [MapService] : このロールタイプは、[Map Service] へのアクセス権を提供します。
- [IoT Services] : このロールタイプは、[IoT Services] へのアクセス権を提供します。
- [Location Analytics] : このロールタイプは、Location Analytics アプリへのアクセス権を提供します。



(注) Map Services へのアクセスは、DNASpaces の一部としては提供されなくなりました。ただし、MapServices のロールへの割り当ては、DNASpaces の割り当てと同時に行う必要があります。たとえば、MapServices への読み取りおよび書き込みアクセスと、DNASpaces への読み取り専用アクセスを持つロールを作成できます。

Dashboard Admin ロールの場合、Location Analytics へのアクセスはデフォルトで提供されます。他のロールについては、アクセスを個別に割り当てる必要があります。ただし、Location Analytics のロールへの割り当ては、DNASpaces サービスの割り当てと同時に行う必要があります。たとえば、Location Analytics への読み取りおよび書き込みアクセスと、DNASpaces への読み取り専用アクセスを持つロールを作成できます。[Location Analytics] タイルは、Location Analytics へのアクセス権のない Cisco DNA Spaces ユーザーアカウントでは無効になります。

Cisco DNA Spaces ユーザーを招待するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Admin Management] を選択します。
- ステップ 2 [Invite Admin] をクリックします。
- ステップ 3 [Invite Admin] ウィンドウで、次の詳細を入力します。

- a) [Email] フィールドで、追加するユーザーの電子メールアドレスを入力します。
- b) [Role Name] ドロップダウンリストから、このユーザーに提供するユーザーロールを選択します。

デフォルトのユーザーロール、および以前に定義したユーザーロールが、選択用のドロップダウンリストに表示されます。必要なユーザーロールがない場合は、[Create New Role] を使用してユーザーロールを定義できます。新規ユーザーロールの作成の詳細については、「ユーザーロールの作成」を参照してください。定義されているすべてのユーザーロールが [Roles] タブに一覧表示されます。

- c) [Invite] をクリックします。

- (注)
- [Invite Admin] ボタンは、読み取りおよび書き込み権限を持つ Cisco DNA Spaces 管理者のみが使用できます。
  - Captive Portals などの一部のアプリには、その特定のアプリのユーザーを管理するためのプロビジョニングが含まれます。たとえば、読み取り/書き込み権限を持つ Captive Portals アプリユーザーは、Captive Portals アプリの [User Management] オプションから、ユーザーロール Creative User または AccessCodeManger を持つユーザーを招待できます。Admin Management ユーザーが [User Management] ウィンドウに表示されますが、Captive Portals アプリの [User Management] オプションからは、[Admin Management] で作成されたユーザーアカウントを変更することはできません。

---

## ユーザー ロールの作成

Cisco DNA Spaces ユーザーロールを作成するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** [Cisco DNA Spaces] ダッシュボードで、[Admin Management] をクリックします。

**ステップ 2** [Roles] タブをクリックし、[Create Role] をクリックします。

- (注) [Invite Admin] ウィンドウの [Role Name] ドロップダウンリストで [Create New Role] をクリックする方法もあります。

**ステップ 3** [Create New Role] ウィンドウで、次の詳細を入力します。

- a) [ROLE NAME] フィールドに、ユーザーロールの名前を入力します。
- b) [APPS] エリアで、このユーザーロールに提供するロールタイプのチェックボックスをオンにします。  
ロールタイプ (アプリ) の詳細については、[Cisco DNA Spaces ユーザーの招待 \(1 ページ\)](#) で説明されているロールタイプを参照してください。
- c) 各ロールタイプに表示されるドロップダウンリストから、特定のユーザーロールに付与するアクセス権を選択します。

アクセス権を [Read Only] または [Read/Write] に設定することができます。

たとえば、ダッシュボードのメニュー項目への完全なアクセス権と、キャプティブポータルアプリへの読み取り専用アクセス権を持つユーザーロールを作成する場合は、[DNA Spaces] チェックボックス

をオンにして、対応するドロップダウンリストから [Read/Write] を選択します。次に、[Captive Portal] チェックボックスをオンにし、対応するドロップダウンリストから [Read only] を選択します。

d) [作成 (Create)] をクリックします。

[Invite Admin] ウィンドウの [Role Name] ドロップダウンリストにユーザーロールが表示されるようになります。

---

## Cisco DNA Spaces ユーザーの編集

「読み取り」および「書き込み」権限を持つダッシュボード管理ユーザーは、ユーザーのユーザーロールを変更できます。たとえば、ダッシュボード管理者の「読み取り」は、ダッシュボード管理者の「読み取り」および「書き込み」ユーザーに昇格できます。

Cisco DNA Spaces ユーザーのユーザー権限を変更するには、次の手順を実行します。

---

**ステップ 1** Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[Admin Management] を選択します。

Cisco DNA Spaces ユーザーの電子メール ID のリストを含む [Admin] ページが表示されます。

**ステップ 2** 編集するユーザーの電子メール ID の右端にある [Edit] アイコンをクリックします。

[Invite Admin] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** [Role Name] ドロップダウンリストから、ユーザーに付与するアクセスのタイプを選択します。

デフォルトのユーザーロール、および以前に定義したユーザーロールが、選択用のドロップダウンリストに表示されます。必要なユーザーロールがない場合は、[Create New Role] を使用してユーザーロールを定義できます。新規ユーザーロールの作成の詳細については、「ユーザーロールの作成」を参照してください。

**ステップ 4** [更新 (Update)] をクリックします。

---

## Cisco DNA Spaces ユーザーの削除

あるユーザーが Cisco DNA Spaces にアクセスする必要がなくなった場合は、そのようなユーザーを Cisco DNA Spaces のユーザーリストから削除することを推奨します。[Dashboard Admin Role] のユーザーは、他のユーザーを削除できます。

既存の Cisco DNA Spaces ユーザーを削除するには、次の手順を実行します。

---

**ステップ 1** [Cisco DNA Spaces] ダッシュボードで、[Admin Management] を選択します。

[Admins] ページに、Cisco DNA Spaces ユーザーのリストが表示されます。

**ステップ 2** 削除するユーザーの電子メール ID の右端にある [Delete] アイコンをクリックします。

複数のユーザーを削除する場合は、対応する電子メール ID のチェックボックスをオンにして、ウィンドウの右上に表示される [Delete Admins] をクリックします。

## God Admin

Cisco DNA Spaces は、シスコ社内ユーザーのみが利用できる God Admin ダッシュボードにアクセスするための God Admin ユーザーロールを提供します。現在、一度に利用できる God Admin アカウントの数に制限を設けています。[チーム] オプションでは、God Admin ユーザーロールの作成をサポートしていません。このユーザーロールは、Cisco DNA Spaces チームによって内部的に作成されています。God Admin ダッシュボードは、すべての Cisco DNA Spaces のお客様のデータに基づいて生成されたレポートを提供し、シスコが Cisco DNA Spaces の全体的なパフォーマンスを分析するのに役立ちます。

God Admin ダッシュボードに表示されるデータは次のとおりです。

- ロケーションの総数
- AP の総数
- ロケーション情報更新の総数
- Cisco DNA Spaces がカバーする総平方フィート面積
- 訪問および訪問者の総数
- マップビューおよびリストビューでのロケーション別の訪問者数
- 上位 5 つのロケーション
- さまざまな訪問時間範囲における滞在時間
- さまざまな訪問時間範囲における訪問回数
- 時間ごとの訪問数のグラフ
- キャプチャされた携帯電話番号の件数、電子メール ID の数、名前の数と、性別がキャプチャされた訪問者の数。
- オプトインユーザーの数

## Cisco DNA Spaces のアカウントの管理

この項では、Cisco DNA Spaces アカウントを管理する方法について説明します。

## Cisco DNA Spaces パスワードの変更

アプリケーションのセキュリティ向上のため、Cisco DNA Spaces のパスワードを頻繁に変更することをお勧めします。

Cisco DNA Spaces アカウントのパスワードを変更するには、以下の手順に従います。

---

**ステップ 1** Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、ダッシュボードの右端に表示される [User Account] アイコンをクリックします。

**ステップ 2** [Change Password] をクリックします。

**ステップ 3** 表示されるウィンドウで、次の手順を実行します。

- a) [Current Password] フィールドに、Cisco DNA Spaces アカウントの現在のパスワードを入力します。
- b) [New Password] フィールドに、Cisco DNA Spaces アカウントの新しいパスワードを入力します。
- c) [Confirm Password] フィールドに、確認のために新しいパスワードを再入力します。
- d) [Change Password] をクリックします。

---

### パスワードの強度 (Password Strength)

Cisco DNA Spaces パスワードには、次のパラメータが必要です。

- 8 文字以上。
- 1 つ以上の大文字 (A-Z)
- 1 つ以上の小文字 (a-z)
- 1 つ以上の特殊文字
- 1 つ以上の数字 (0-9)

## Cisco DNA Spaces からのサインアウト

Cisco DNA Spaces からサインアウトするには、次の手順を実行します。

---

**ステップ 1** Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、ダッシュボードの右端に表示される [User Account] アイコンをクリックします。

**ステップ 2** [Logout] をクリックします。

---